

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【公開番号】特開 2020-58425 (P2020-58425A)

【公開日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-015

【出願番号】特願 2018-189885 (P2018-189885)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 3 日 (2021.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
 前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認
 制御手段と、
 遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
 遊技媒体が所定領域を通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結
 果を導出表示する普通可変表示手段と、
 普通識別情報の可変表示を行う普通可変表示期間を計時する普通可変表示計時手段と、
 前記有利状態に制御されることを報知する有利状態報知演出を実行可能な有利状態報知
 演出実行手段と、
 前記有利状態報知演出が実行される有利状態報知期間を計時する有利状態報知計時手段
 と、を備え、
 前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が
 実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
 前記設定確認状態が終了した後に前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後
 、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
 前記普通可変表示期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後
 に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態
 が終了するまで前記普通可変表示期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき
 に前記普通可変表示期間の計時が再開され、
 前記有利状態報知期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後
 に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態
 が終了するまで前記有利状態報知期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき
 に前記有利状態報知期間の計時が再開される、
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

従来、設定変更操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかに設定可能であり、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、主基板側から設定変更状態中や設定確認状態中であることを示すコマンドが演出制御基板側に送信されることに基づいて、設定変更状態中や設定確認状態中であることが報知されていた（例えば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】 特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、特許文献 1 にあつては、遊技の進行中に設定確認作業を行う際のこと十分に考慮されておらず、改善の余地があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、設定確認状態中においてイレギュラーなコマンドの受信があった場合の制御が適切に実行される遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、

前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、

前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、

遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、

遊技媒体が所定領域を通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する普通可変表示手段と、

普通識別情報の可変表示を行う普通可変表示期間を計時する普通可変表示計時手段と、

前記有利状態に制御されることを報知する有利状態報知演出を実行可能な有利状態報知演出実行手段と、

前記有利状態報知演出が実行される有利状態報知期間を計時する有利状態報知計時手段と、を備え、

前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、

前記設定確認状態が終了した後に前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、

前記普通可変表示期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記普通可変表示期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記普通可変表示期間の計時が再開され、

前記有利状態報知期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記有利状態報知期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記有利状態報知期間の計時が再開される、

ことを特徴とする。この特徴によれば好適に設定確認作業を進めることが出来る。

手段1の遊技機は、

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値（例えば、設定値1～6）のうちいずれかの設定値に設定可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば、CPU103）と、

前記遊技制御手段から出力されたコマンドに基づいて演出を制御する演出制御手段（演出制御用CPU120）と、

乱数値（例えば、MR1～MR3）を抽出する抽出手段（例えば、図6のS101）とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記抽出手段から抽出された前記乱数値に基づいて可変表示を実行可能であり（例えば、図6のS112）、

前記乱数値を加工した（例えば、図49のステップSc031）特定コマンド（例えば、乱数値送信用コマンド1～4）を前記演出制御手段に出力し（例えば、図49のステップSc032、図5のS27）、

タイマ値に応じて第1処理（例えば、図56の特別図柄変動処理）を実行する第1処理実行手段（例えば、CPU103）と、

タイマ値に応じて第2処理（例えば、図57の特別図柄停止処理）を実行する第2処理実行手段（例えば、CPU103）と、

前記第1処理及び前記第2処理よりも先に実行され、前記第1処理で用いられるタイマ値と前記第2処理で用いられるタイマ値とを更新する第3処理（例えば、図53のタイマ更新処理）を実行する第3処理実行手段（例えば、CPU103）と、を有し、

前記演出制御手段は、前記遊技制御手段から出力された前記特定コマンドから前記乱数値を復元し（例えば、図50のステップSc042）、復元された前記乱数値に基づいて可変表示に対応した演出（例えば、先読み予告演出）を制御し（例えば、図51のステップSc066）、

前記第1処理実行手段は、前記第3処理において更新されたタイマ値に基づいて前記第1処理を実行し、

前記第2処理実行手段は、前記第3処理において更新されたタイマ値に基づいて前記第2処理を実行する、ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技制御手段としてのメイン側の容量の圧迫を軽減することができる。